

## 第8回日本 TRIZ シンポジウム 2012 へのお誘い

2012年4月27日

日本 TRIZ 協会 第8回日本 TRIZ シンポジウム 2012  
プログラム委員長 中川 徹

ご案内しております表記のシンポジウムにつきまして、主催者の「企画もの」の計画をご案内いたします。  
また、「一般発表」へのご応募（5月15日締め切り）、およびご参加の準備をお願いいたします。

### 1. シンポジウム概要

日時： 2012年 9月 6日（木）～ 8日（土）（3日間）

会場： 早稲田大学 西早稲田キャンパス（理工キャンパス）55号館

<http://www.waseda.jp/jp/campus/nishiwaseda.html>

169-8555 東京都新宿区大久保 3-4-1

アクセス： JR 山手線 高田馬場駅、西武線 高田馬場駅 徒歩 15分  
地下鉄東京メトロ 副都心線 西早稲田駅 直結

主催： NPO法人 日本TRIZ協会（理事長：林 利弘（林技術士事務所））

目的： 創造的な技術革新の技法「TRIZ」とその関連分野での発表・討論・交流の場を提供する。  
TRIZに関して、その技術レベルの向上と普及・推進・適用のしかたの向上に資する。  
日本と世界の TRIZ 関係者の交流を図り、TRIZ の理解と普及を促進する。

主題： 「TRIZ 思考で、プロセスを変える、夢をかなえる！」  
"Realize Your Dream with TRIZ Thinking!"

言語： 日本語と英語。日本語スライドと英語スライドの同時投影を基本にしています。

### 2. プログラム構成骨子

第1日「セミナーの日」:

日本語トラック： チュートリアル（初心者向け）（午前）

テーマ講演（初心者と経験者向け）（午後）

英語トラック： アドバンストセミナー（経験者向け）（午前・午後）

第2日、第3日「コンファレンスの日」:

基調講演、一般研究発表（オーラル発表とポスター発表）、パネル討論、  
夕食&交流会、日本 TRIZ 協会総会など

	第1日 9/6 (木) セミナーの日 (A) (B)	第2日 9/7 (金) コンファレンスの日 (C) (日本語 & 英語)	第3日 9/8 (土)
	(A) セミナー (日本語トラック)	(B) セミナー (英語トラック)	プレセッション 日本TRIZ協会 総会
午前	チュートリアル	アドバンス セミナー	開会挨拶 基調講演 2件
午後	テーマ 講演 ~3件	アドバンス セミナー(続)	一般発表 (ポスター) 一般発表 (オーラル)
夕方	夕食 (A) (B) (C) 参加者合同 グループ討論		一般発表 (ポスター) 一般発表 (オーラル) 閉会
		夕食 & 交流会	

### 3. 一般発表 (オーラル/ポスター) の募集

TRIZ および関連技法の理解・応用・普及・発展に関する、研究発表・実践報告を募集しています。

詳しくは、日本 TRIZ 協会ホームページ および 『TRIZ ホームページ』を参照下さい。

- 5/15 (火) 18:00 発表申し込み締切 (概要 (和) 1 ページ、(英) 半ページ)
- 6/11 (月) プログラムの公表、アブストラクト公表、参加者募集 (国内、海外)
- 7/23 (月) 最終原稿 (スライド必須、論文随意) の締切

### 4. 「セミナーの日」 (第1日) の企画

(A1) チュートリアル： 第1日午前 (2時間) 日本語トラック

「TRIZ の基本」 (仮題)

講師： 笠井 肇 (アイデア社)

TRIZ の初心者に向けた説明。シンポジウムへの導入のために。

(A2) テーマ講演： 第1日午後 (正味4時間、途中休憩あり) 日本語トラック

TRIZ の基本から一歩進んで、重要なテーマについての解説/事例報告と討論。

(a) 「物理的矛盾とその解決」 講師： 黒澤 慎輔

「システムの一つの側面について、正・逆の対立する要求が同時にある」という「物理

的矛盾」の概念とその解決の方法は、TRIZ のユニークな強みです。じっくり解説を聞き、質疑応答をする予定です。

- (b) 「企業における TRIZ の適用成功事例の紹介」 コーディネータ：有田 節男（日立）  
いままでの TRIZ シンポジウムで発表され、好評であったもの数件をまとめて紹介し、適用のプロセス、推進のプロセスなどを考察します。  
企業での実地適用および普及・推進を試みておられる方々に向けたものです。  
発表者：菊池 史子（パイオニア）他

- (c) 「若い人たちへの TRIZ による問題解決の教育と演習の経験」 コーディネータ：中川 徹  
日本での TRIZ を、ずっと若い人たちに伝え、普及させることが重要と考えています。  
高専、大学、大学院、企業(新入社員) などでの事例を紹介してもらい、討論します。  
単なる講義／講演でない、演習と実地の問題解決を主としたやり方を議論します。

- (B) アドバンスト・セミナー 第1日 午前・午後（正味 6 時間、途中休憩あり）英語トラック  
TRIZ の経験者（国内&海外）に向けたセミナー。【英語のみ。通訳はありません。】

講師： Prof. Denis Cavallucci (INSA Strasbourg, 仏) = 基調講演者

テーマ：「From TRIZ to Inventive Design Method (IDM):

towards a formalization of Inventive Practices in R&D Departments」

フランスの大学と企業で開発している新しい TRIZ の方法について、詳しく解説し、討論します。

グループ討論：(A)(B)(C) 合同：夕食&討論（約 2 時間）

テーマ／関心別にいくつかのグループに分かれて、夕食をともにしつつ、討論する予定です。

## 5. 「コンファレンスの日」（第 2 日、第 3 日）の企画

プレセッション：参加者の自己紹介と予備討論（英語）

基調講演 1：Prof. Denis Cavallucci (INSA Strasbourg, 仏)（70～80 分）（英語）

テーマ：「How TRIZ can contribute to a paradigm change in R&D practices」

Cavallucci 准教授は、ストラスブールの大学院大学に TRIZ の専門課程を作り、すでに数人の PhD を養成してきました。TRIZ と OTSM を消化し、独自の方法 (IDM) を構築してきました。企業の研究開発のプロセスの中にスムーズに取り入れられる方法を目指しているものです。

基調講演 2：Dr. Jeongho Shin (eTRIZ 社、韓国)（30～40 分）（英語）

テーマ：「How to learn TRIZ with ease and fun」

昨年秋の ETRIA TRIZ 国際会議での発表が非常に興味深いものでしたので、招待しました。発明原理 8 つを組み込んだ「ドレミの歌」の替え歌「Invention Song」は非常に楽しいものです。韓国語・英語・中国語版が作成済みです。日本語版の作成を現在検討中です。

夕食&交流会：第 2 日 夕方（2 時間）

立食形式の夕食と自由な交流の時間です。

仲間作り、人脈作りは TRIZ の習得・普及に有効です。

討論セッション：「若々しい TRIZ」のために（40 分）

(日本において) **TRIZ** を若い人たちに普及させるには、何が問題で、どうすればよいのか。  
3日間のシンポジウムの最後にまとめのための討論をする予定です。

以上